

商店街名：広小路商店街振興組合【名古屋市、平成 28 年度指定】

1 活性化モデル商店街の概要

●キャッチフレーズ

「文化」と「科学」を楽しめるまち 広小路

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

- ・ 広小路通は清洲越しによる名古屋城下の誕生以来、名古屋のメインストリートとして発展を続けており、百貨店を始めとした商業施設や文化施設が集積し、生活・娯楽・交流の場としての機能を有している。
- ・ 活性化事業の実施場所となる広小路長者町交差点から伏見交差点までの区間は、金融機関が比較的多く立地する一方で、老舗料理店や居酒屋などの飲食店も多く立地している。
- ・ でんきの科学館や名古屋市科学館、御園座（建替え工事中）等の文化施設に近接している。

【課題】

名古屋駅前エリアにおいては、リニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラの整備検討や超高層ビルの建築ラッシュなどが進んでおり、同エリアへの一極集中による栄・伏見地区の求心力低下の可能性が懸念されている。

【対策】

広小路エリアは江戸時代より名古屋の「文化」の発信拠点としての役割を担ってきたこと、そして現在では科学館を始めとした「科学」の発信拠点でもあることに鑑み、イベントの企画内容に地域を代表する資源を活かした「文化」及び「科学」を発信する事業を盛り込むことにより、幅広い世代の集客を図る。

- ・ 栄町商店街振興組合及び名古屋市科学館と連携し、栄－伏見間の広小路通を舞台としたイベントである「広小路夏まつり」を開催する。
- ・ 地域のまちづくり団体である「芸術と科学の杜連携推進会議」との連携による事業を展開する。

◎具体的に取組む事業内容

○広小路「文化」と「科学」のまちづくり事業（28年度～32年度）

- (1) 広小路夏まつりの開催
- (2) 次年度へ向けた検討会の開催
- (3) 芸術と科学の杜連携推進会議との連携事業の実施

○広小路花小路（28年度～32年度）

広小路通沿いの植栽帯の花植え等を実施

2 活性化モデル商店街の実績・成果等

◎商店街の将来ビジョンの実績

広小路通一帯で行う「広小路夏まつり」を通して、広小路商店街もイベントを行うことで、商店街ひいては広小路通一帯の活性化に寄与したが、最終年度は新型コロナウイルス感染症を受けて「広小路夏まつり」自体が中止となった。花壇整備事業は例年どおり実施したため、地域には継続して貢献することができた。

◎事業実績

○広小路「文化」と「科学」のまちづくり事業（H28年度～R1年度）

- (1) 第65～68回広小路夏まつりの開催
- (2) 次年度へ向けた検討会の開催
- (3) 芸術と科学の杜連携推進会議との連携事業の実施

○広小路花小路（H28年度～R1年度）

広小路通沿いの植栽帯の花植え等を実施

○花でお迎え広小路2020（R2年度）

広小路通沿いの植栽帯の花植え等を実施

◎事業の効果

最終年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、そもそもイベントを実施できなかったが、それまでは毎年通行量も増えており、広小路商店街振興組合のイベントが来街者増に影響を及ぼした。

◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

事業最終年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、メインイベントである広小路夏まつりが開催できなかった。その中でも、花でお迎え広小路を実施することで、社会全体が沈んだ中、少しでも明るい話題を提供することができた。

◎その他の成果

商店街及び自治体等の関係者が一緒になって地域の装飾活動にいそむことで、連帯感を生み出すことができたほか、街中が花で彩られることになったため、地域の魅力ある景観づくりに一商店街として寄与することができた。



(広小路通沿いの植栽帯の花植え)